



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月13日

上場会社名 株式会社 倉元製作所
 コード番号 5216 URL <http://www.kuramoto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 柴田 哲
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0228-32-5111

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	691	△59.1	△254	—	△259	—	920	—
27年12月期第1四半期	1,692	△2.1	11	—	△8	—	△29	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 913百万円 (—%) 27年12月期第1四半期 △6百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	57.00	—
27年12月期第1四半期	△1.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第1四半期	7,920	3,408	43.0	211.16
27年12月期	9,611	2,495	26.0	154.57

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 3,408百万円 27年12月期 2,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,400	△55.6	△350	—	△400	—	800	—	49.56
通期	3,700	△36.9	20	—	△50	—	1,100	—	68.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 株式会社FILWEL
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期1Q	16,143,170 株	27年12月期	16,143,170 株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	880 株	27年12月期	880 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期1Q	16,142,290 株	27年12月期1Q	16,142,290 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績予想は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を用い、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年1月1日～平成28年3月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって総じて緩やかな回復基調を維持するものの、海外経済で弱さがみられており、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループの〔ガラス基板事業〕は、前年下期から受注が大きく低迷し、新たな領域開拓を進めるものの回復するに至らず、売上が低調に推移しました。また、〔精密研磨布事業〕では、前期まで連結子会社であった株式会社F I L W E Lの全株式を平成28年1月に譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、同事業から撤退いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、691百万円（前年同四半期比59.1%減）に、営業損失は254百万円（前年同四半期は11百万円の営業利益）に、経常損失は259百万円（前年同四半期は経常損失8百万円）に、親会社株主に帰属する四半期純利益は関係会社株式売却益1,482百万円の計上により、920百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失29百万円）となりました。

〔ガラス基板事業〕

ガラス基板事業においては、前年下期から受注が大きく低迷している中、事業構造の改善を図るとともに新たな領域開拓を進めるものの回復するに至らず、売上高は635百万円（前年同四半期比29.3%減）に、セグメント損失は202百万円（前年同四半期セグメント損失は73百万円）となりました。

〔その他事業〕

その他事業は、産業用機械製造販売等ではありますが、売上高は58百万円（前年同四半期比49.1%減）に、セグメント損失は55百万円（前年同四半期セグメント損失は39百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて1,691百万円減少し、7,920百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加の一方、受取手形及び売掛金並びに仕掛品の減少などにより869百万円減の2,323百万円に、固定資産は、減価償却費の計上などにより821百万円減の5,597百万円となりました。

(負債の部)

負債は、支払手形及び買掛金の減少、借入金の返済などにより2,604百万円減少し、4,511百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の欠損が縮小したため、913百万円増加し、3,408百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

市場環境の不透明感ではありますが、当社グループでは得意先のニーズを的確に捉え、新たな付加価値のための技術構築に注力するとともにモノづくり力を一層強化し、今後の収益の確保に努めてまいります。

平成28年12月期の通期業績予想については、平成28年2月18日の「平成27年12月期決算短信」公表時の予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において連結子会社であった株式会社F I L W E Lは、平成28年1月29日に当社の保有する全株式を譲渡したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、過年度より抜本的な経営体質の改善及び収益基盤の強化を継続実施しております。しかし、前連結会計年度において、営業損失、経常損失、当期純損失を計上し、当第1四半期連結会計期間においても、ガラス基板事業における受注低迷に伴う稼働率低下等の影響が大きく、営業損失254百万円、経常損失259百万円を計上するに至っております。また、取引金融機関に対する借入金の返済猶予の状況は継続しており、取引金融機関によって期限の利益の確保が短期にとどまっている状況となっております。これらにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消するための対応策として、平成28年1月29日に、連結子会社であった株式会社F I L W E Lの全株式を3,890百万円で譲渡し、当該資金より、株式会社F I L W E Lからの借入金625百万円及び取引金融機関からの借入金1,496百万円の返済を行っておりますが、1,769百万円の資金を確保しております。また、当社グループは主力事業であるガラス基板事業へ経営資源を集中し、当該事業の収益構造の改善及びキャッシュ・フローの安定化を最大の経営課題として推進しており、それらを反映した事業計画とこれに基づく借入金返済計画について取引金融機関から同意が得られるよう協議しております。その結果、全ての取引金融機関から返済計画に対する同意書を入手しております。

以上を踏まえ、子会社株式の売却により一定の資金を確保していること、収益構造の改善及びキャッシュ・フローの安定化を推進していること、全ての取引金融機関から返済計画に対する同意書を入手していること等を総合的に勘案した結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	831,471	1,253,845
受取手形及び売掛金	1,432,639	782,604
商品及び製品	131,800	39,552
仕掛品	243,575	20,193
原材料及び貯蔵品	266,438	174,411
繰延税金資産	239,746	—
その他	55,678	60,923
貸倒引当金	△8,544	△8,529
流動資産合計	3,192,804	2,323,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,946,904	1,714,079
機械装置及び運搬具(純額)	845,508	616,358
土地	3,381,459	3,086,856
その他(純額)	93,395	46,447
有形固定資産合計	6,267,268	5,463,742
無形固定資産	73,482	72,837
投資その他の資産	77,974	60,495
固定資産合計	6,418,725	5,597,075
資産合計	9,611,529	7,920,077
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	505,885	107,255
短期借入金	4,178,474	2,710,040
1年内返済予定の長期借入金	182,142	111,924
未払金	529,758	471,835
未払法人税等	53,042	220,639
その他	182,101	76,853
流動負債合計	5,631,403	3,698,549
固定負債		
長期借入金	1,136,781	694,052
繰延税金負債	184,973	—
役員退職慰労引当金	106,262	83,037
退職給付に係る負債	39,904	31,411
その他	17,156	4,431
固定負債合計	1,485,078	812,933
負債合計	7,116,482	4,511,482

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,885,734	4,885,734
資本剰余金	6,335,992	6,335,992
利益剰余金	△8,778,877	△7,858,733
自己株式	△411	△411
株主資本合計	2,442,438	3,362,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,167	△2,490
退職給付に係る調整累計額	50,440	48,501
その他の包括利益累計額合計	52,608	46,011
純資産合計	2,495,047	3,408,594
負債純資産合計	9,611,529	7,920,077

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	1,692,595	691,800
売上原価	1,410,129	772,023
売上総利益又は売上総損失(△)	282,465	△80,223
販売費及び一般管理費	271,247	173,821
営業利益又は営業損失(△)	11,218	△254,044
営業外収益		
受取利息	378	259
投資事業組合運用益	7,688	363
不動産賃貸料	4,673	2,678
補助金収入	700	17,411
保険解約返戻金	6,006	—
その他	2,240	8,304
営業外収益合計	21,687	29,017
営業外費用		
支払利息	37,456	29,157
その他	3,502	4,822
営業外費用合計	40,959	33,980
経常損失(△)	△8,053	△259,007
特別利益		
固定資産売却益	—	773
関係会社株式売却益	—	1,482,740
特別利益合計	—	1,483,514
特別損失		
固定資産除却損	1,787	—
事業構造改善費用	—	67,674
特別損失合計	1,787	67,674
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,841	1,156,832
法人税、住民税及び事業税	20,146	196,530
法人税等調整額	△536	40,158
法人税等合計	19,609	236,688
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,450	920,143
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,450	920,143

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,450	920,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,181	△4,658
退職給付に係る調整額	20,490	△1,938
その他の包括利益合計	22,672	△6,597
四半期包括利益	△6,778	913,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,778	913,546

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガラス基板	精密研磨布	計				
売上高							
外部顧客への売上高	898,809	729,106	1,627,915	64,679	1,692,595	—	1,692,595
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	20,184	20,184	51,095	71,280	△71,280	—
計	898,809	749,291	1,648,100	115,775	1,763,875	△71,280	1,692,595
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△73,444	132,729	59,284	△39,271	20,012	△8,794	11,218

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△8,794千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	ガラス基板				
売上高					
外部顧客への売上高	635,084	56,716	691,800	—	691,800
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,223	2,223	△2,223	—
計	635,084	58,939	694,024	△2,223	691,800
セグメント損失(△)	△202,984	△55,534	△258,518	4,474	△254,044

(注) 1. 「精密研磨布事業」を行っていた株式会社F I L W E Lは、平成28年1月29日にその保有する全株式を第三者に譲渡し、同社は連結除外となっております。これに伴い、「精密研磨布事業」は当第1四半期連結会計期間より廃止しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械事業等を含んでおります。

3. セグメント損失(△)の調整額4,474千円は、セグメント間取引消去であります。

4. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。